

# 勇往邁進

Vol.32

R8.2.19

9学年通信

港区立御成門学園御成門中学校

## ☆いじめについて考える～思いやりの心を育てる道徳の授業～

先日、道徳の授業で「卒業文集 最後の二行」という教材を扱い、「いじめを許さない心」について考える学習を行いました。本教材は、小学6年生の男の子の視点から語られる物語で、家庭の事情により身なりが整わず、周囲からいわれのないいじめを受けてしまう一人の女の子の姿が描かれています。主人公は、いじめがよくないことだと理解していながらも周囲の雰囲気の流れに流され、その女の子に厳しい態度をとってしまいます。そして大人になってからも、その行動を悔い続けるという内容です。

授業では、登場人物の心情を想像しながら、「なぜいじめが起きてしまうのか」「自分ならどう行動するか」について意見を交流しました。生徒たちは、相手の立場を考えることの大切さや、周囲に流されず自分の判断で行動することの難しさについて真剣に考える様子が見られました。今回の学習を通して、他者への思いやりや、互いを尊重し合う姿勢を改めて見つめ直す機会となりました。

今後も安心して過ごせる学級づくりを大切にしながら、生徒一人ひとりがより良い人間関係を築いていけるよう支援してまいります。

### 【生徒の意見】

① どのような行為がいじめだと思いますか。

- ・相手が嫌な気持ちになることをする。
- ・暴言（相手が嫌なこと、嫌がること、相手を否定すること）を言う。
- ・暴力（蹴ったり、叩いたり、殴ったり）を振るうこと。
- ・行動（無視、悪意をもった気持ち）をする。
- ・一人とか少数の人を多数で、暴言や暴力をして、心や体を傷つける行為。
- ・自分よりも弱い人の心や身体を傷つけること。
- ・理不尽な暴力や暴言。

② いじめはなぜ起こるのでしょうか。

- ・いじめられた人の気持ちを考えない。人の悪いところや弱点を探し出すから。
- ・ストレスや悩みをぶつけるため。
- ・いじめる側が優位に立ちたいという気持ちが働くから。
- ・遊び感覚でいじめは始まる。
- ・いじめる側が愛情不足の状態にある。
- ・共感が育っていないといじめをする。

- ・加害者にはいじている自覚がなく、いじている人に心の余裕がないから。
- ・心に余裕がない人が、弱い人をいじめることで、自分が強いということを誇示したい人がいるから。

③ どのようにしたら、いじめはなくなるとおもいますか。

- ・道徳の授業をたくさんする。
- ・誰にでも相談することができるような心を育てる。
- ・外部にある相談窓口の周知を徹底する。
- ・ストレスの少ない環境を作る。
- ・いじめられている人もいじめをしている人も、自分の悩みについて相談することができる環境を作る。
- ・いじめについて周りの人が無関心にならない。
- ・いじめをした人に厳しい対応をする。

④ 授業の感想

- ・いじめられている人は助けてほしくても、助けを求めることがどうしてもできない時もあるから、話しやすい雰囲気を作ったり、周りの人が手を差し伸べてあげるべきであると思いました。いじめをしてきた人は、謝ったり後悔していることを決して美化することなく、一生かけて向き合ってほしいと思います。
- ・改めていじめについて考えることができる良い機会となりました。「いじめを見たら助けることができますか」という問いに手を挙げることができず、自分の弱さを知りました。人に手を差し伸べることができるような、強い人間になりたいと思いました。
- ・いじめはそう簡単にはなくなるわけではないですが、なくなって欲しいと心から思いました。いじめられている人は頑張っても怖くて対抗できないと思うので、周りの人の行動が大切であると思いました。
- ・今日の授業でいじめについて深く考えることができました。たくさんの人の意見を聞くことができて良かったです。確かにと共感することができました。いじめは今もなくなっていないので、もし私がいじめられている人を見かけたら、勇気を出してその人に寄り添ってあげたいと思いました。



## ☆生徒のスピーチ

〈9年1組〉

皆さんは1日何回「ありがとう」を使っていますか。「ありがとう」を言うと言われた人が嬉しくなります。そして言った自分もなんだか嬉しくなります。大阪万博でも吉村知事のスピーチの中で言った「ありがとう」という言葉が注目されました。たった一言でも人の気持ちを明るくできるからです。

僕も感謝の気持ちを言葉にさせてください。まずは担任の先生「ありがとう」。いつも僕たちのことを気づかせていただき、本気で向き合ってくれました。合唱コンクール時も、とことん練習に付き合ってくれて嬉しかったです。先生のおかげで受験も頑張ることができました。

英語科の先生「ありがとう」。先生のおかげで英語を楽しく学べ、これからの将来につながっていくと思います。先生がいたからこそ僕は英語が好きでいられました。

他の学級担任・副担任の先生「ありがとう」。授業だけでなく、行事や日常の何気ない時間も支えてくれました。

そして、ここにいるみんな「ありがとう」。嬉しいことも悔しいことも、一緒に経験してきました。その全てが大切な思い出です。これからも「ありがとう」を大切にしていって、周りの人を幸せにできる人になりたいです。

〈9年2組〉

卒業までにしたいことは、映画を見ることとスノボーをしに行くことです。アニメの映画を友だちと見たいです。都立の受験が終わったら、友達とスノボーに行きます。そこで一回転を頑張ってみます。都立の人、一緒に頑張りましょう

〈9年3組〉

明後日は都立一般入試です。ですから、みなさんが怪我をしないように、僕の怪我をしたエピソードを紹介しようと思います。

小学3年生の頃、サッカー練習に行く途中に、うんていをしていて落ちてしまい、左腕を骨折しました。手袋をしたまま、うんていをするのは流石に良くなかったと思います。後ろで友達が見てる状態で落ちたので、恥ずかしかったです。お母さんには寄り道をすると言われてのに、やってしまってます、としました。

骨折した後、監督が腕を見てくれた時、監督の手がとても冷たくて、すごく気持ちよかったです。

2回目は、中2の春休みにサッカーの合宿に行った時です。練習で怪我した訳ではなく、部屋で布団に飛び込んだら、指を骨折しました。指が変な方向に曲がっていて、監督に叱られると思い、曲がった指を「ゴッキッ」と無理やり直そうとしましたが治らず、その後友達に助けを求めたらマジックだと思われ「きもいと」言われ逃げられました。とても悲しかったです。

骨折したのは左手だったので、コーチに勉強はできるから良かったなと言われました。怪我した時、サッカーとは何も関係ないところで怪我をしていたので、お父さんに叱られました。怪我すると大変なので、みなさんも怪我しないように気をつけてください。

〈9年3組〉

今日は、僕の乗馬の話をしたいと思います。僕は今は乗馬をやめていますが、今後もしかしたら再開するかもしれません。

乗馬クラブに通っていた時は、毎朝5時に起き、10時に下校だったのでとてもきつかったです。乗馬クラブは千葉県にあり1人で行くのは難しいので、東京駅に毎日6時に送り迎えしてくれるバスに乗っていました。

僕は、普段ユニバーサルバンクやマハロやシャリオという馬を担当しています。ユニバーサルバンクは特に気性が荒く、鞍や腹帯という馬の腹に帯のようなものを巻き、鞍を固定する帯などをつけようとすると、蹴ってきたり噛んできたりします。初めは怖くて他の人に任せていましたが、今は1人ですることができています。

そして今僕は4級を持っていて、次は3級を取りたいと思っています。3級では、駆け足で障害物を飛ばないといけないと相当なレッスンが必要なので、頑張りたいと思います。馬に乗って走ると、自然の力を生で感じる事ができ、爽快感を感じる事ができます。みなさんも一緒に、乗馬を体験して楽しみませんか。